資料通品２－６

0AB～Jを利用するIP電話の総合品質測定について

1. 測定手法

0AB～J番号を利用するIP電話の総合品質については、総合品質測定手法ガイドラインとなるTTC標準「JJ－201．01 IP電話の通話品質評価法」に基づいて測定を実施。

2. 測定項目

PSTN→IP、IP→PSTN、IP→IPの関係において、パケット損失率、往復遅延時間、遅延ジッタ等のR値算出上必要なネットワークパラメータを測定。

※QoS制御機能確認等、技術的品質維持措置の効果確認もあわせて実施。

3. レファレンス接続系

地理的にほぼ最遠距離となる測定区間「北海道～沖縄」間に強度負荷をかけたモデルを限界系と定義。

4. 測定サンプル等

R値算出パラメータ：100サンプル（パケット損失率、往復遅延、遅延ジッタを同時に測定）

各パラメータの測定時間：15 秒周期1分間平均

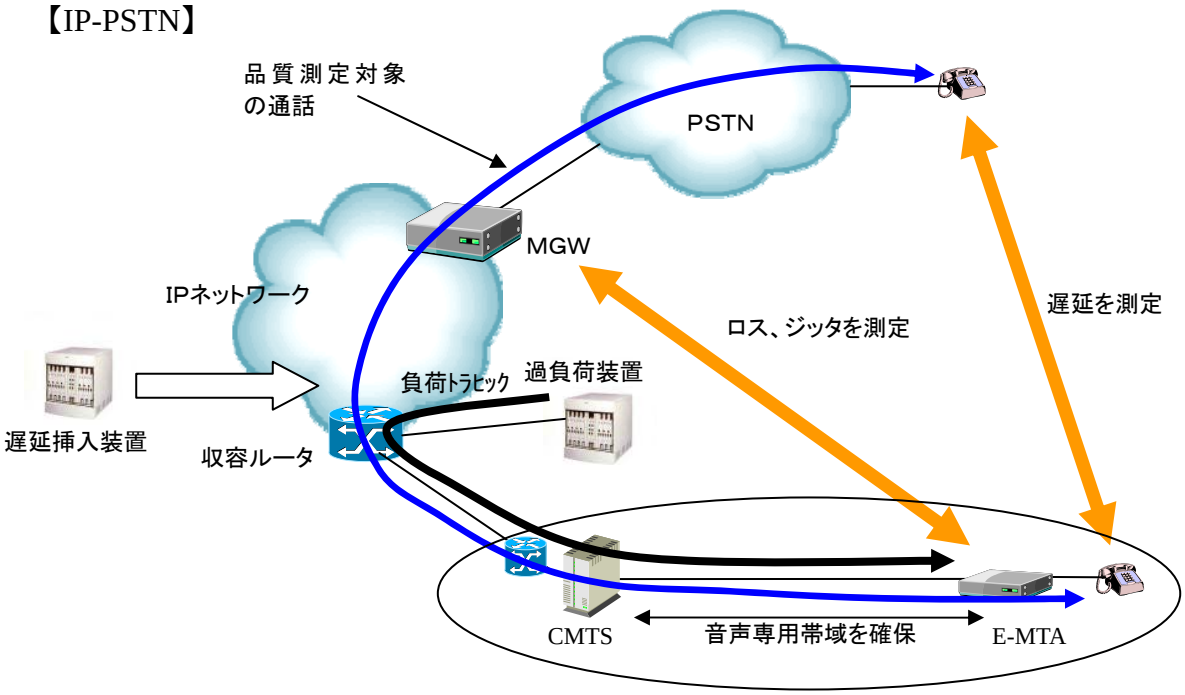
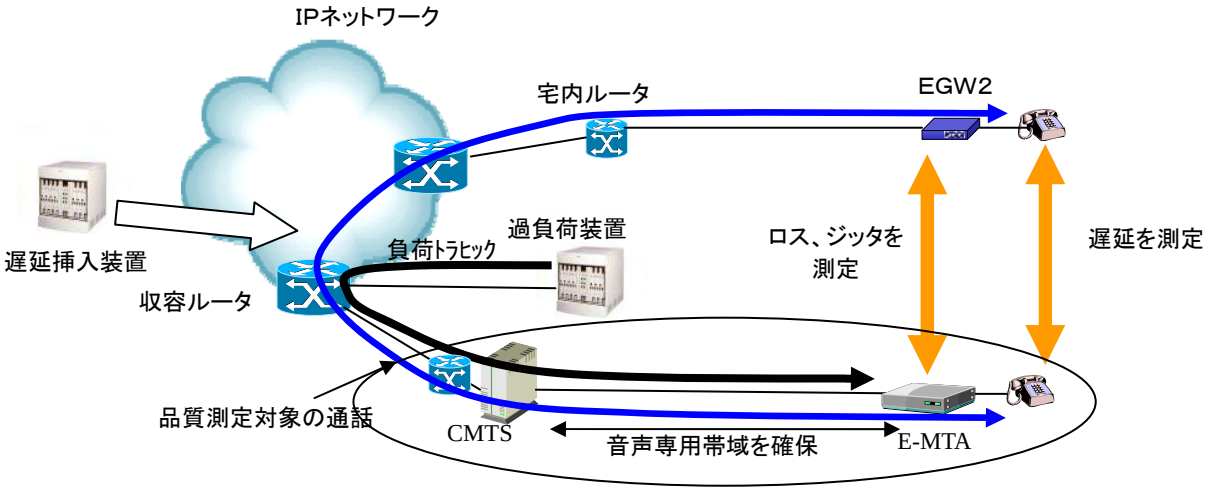
5. R 値の算出

上記測定結果を、E－modelに代入し、R値を算出し、所定の基準値※を満足しているか否か確認。

※事業用電気通信設備規則第35条の11等で定められる基準

0AB～Jを利用したIP電話の品質測定試験例（ケーブルプラス電話の場合）

【IP-PSTN】



【IP-IP】